

～ホーカー・ハリケーン(Hurricane) Mk.I



[↓Me109E と]



本機、ホーカー・ハリケーン Mk.I は、1940 年のバトルオブブリテン(英国の戦い)で活躍した戦闘機です。同戦争を描いた映画「空軍大戦略」(1969 年)ではスピットファイアだけが登場したせい、ハリケーンが存在が忘れられがちですが、実際、ハリケーンによるドイツ空軍機の撃墜数は、スピットファイアのそれ以上であり(スピットファイアの 42% に対して、ハリケーンは 55% : 英文ウィキペディア「Hawker Hurricane」の項参照)、同戦場において忘れてはいけない主役でした。デザイナーはシドニー・カム、この前に傑作・ハート軽爆撃機を設計し、戦後もハリアー戦闘機の基礎形状を考案した名デザイナーで、鋼管布張りの胴体など古い構造ではあったものの、ヘビーデューティーで使い勝手のよい機体を作り出しました。本機は、北アフリカ戦線で戦闘爆撃機として使われたほか、カタパルトで射出できるように貨物船に搭載されましたが(CAM-SHIP と呼ばれる。戦闘の後、海上に不時着してパイロットのみ回収された)、いずれも、本機の頑丈な構造があつてのことです。

【模型について】

ポーランドのアロマホビー(ARMA HOBBY)製の 1/72 の新しいキットです。ポーランドは祖国がドイツに占領された後、同国空軍のパイロットが英国に亡命し、英国空軍の一員として戦います。それだけに、ポーランドは、自国の機体と同じぐらい英国空軍の機体は親しみがあるようで、ディテールなどとてもよくリサーチされた秀作です。(中川裕幸 2021 年 10 月、2024 年 12 月改定)